

☆解説☆ 交通状況に対する適用力を養う（危険予測トレーニング①）

見通しの悪い交差点：中高生の自転車事故で一番多い場所。

一時不停止違反も多く、第一当事者になる場合がある。

あなたは一時停止場所を直進しようとしています



【考えられる危険はなんですか？】

一時停止の標識があり、左右の見通しが悪く、交差点に近づくまで左右の道が見えない状況。

左右から走ってくる車・自転車との衝突。後ろから曲がってくる車と衝突。交差する道路を歩いてくる歩行者との衝突。

【どんな運転をしたらいいですか？】

停止線の直前で一時停止する。交差道路を通行する車両や歩行者の進行を妨げない。停止位置において左右が見通せない場合は、見通し可能な地点まで徐行し、再び停止して安全確認をする。

信号交差点：青信号で進行中の事故も発生しているため十分注意する。

あなたは車道を走り、信号を直進しようとしています



【考えられる危険はなんですか？】

信号機のある交差点で歩行者用信号と車両用信号は青。右左折してくる車があるという状況。

右左折する車に見落とされると、衝突する。左折車の先に隠れている前方からの右折車（二輪車も含む）と衝突する。

（その他にも後ろや前から直進してくる自転車との衝突や横断する歩行者との衝突も考えられる。）

【どんな運転をしたらいいですか？】

左折車のドライバーとアイコンタクトをとる。見落とされている場合は無理な進行はしない。交差点を右左折する車両と衝突する危険があるので、常に交差点の状況を広く見渡しながら通行する。